

正四年、大永三年、天文十八年、天正六年、慶長六年、等の年紀を有する。天正六年の文書は信長の朱印のある禁制状、慶長六年は、片桐市正且元による寺房再興の建立関係文書である。これらは史料編纂所辻彦三郎氏のお世話により閲覧させて頂いた。

註6 鷲塚泰光 中山寺と相応峯寺の十一面観音像 ミュージアム二四八号（昭和四十六年十一月）に本尊修理の際の調査に基づき構造、その他について詳細に記される。

註7 久野健 法華寺の仏像 南都仏教六（昭和三十四年）

註8 松本栄一 木翁随筆（四） 仏教芸術一（昭和二十六年）

註9 久野健 平安初期彫刻史の研究 吉川弘文館（昭和四十九年）

註10 佐和隆研 西国巡礼 社会思想社（昭和四十五年）

美術研究所報

東京国立文化財研究所開所記念講演会

昭和五十年十二月六日（土）、東京国立博物館講堂において「九州の文化財」に関する講演会を左記の通り行った。

長崎と洋風画	美術部	陰里 鉄郎
南九州の民謡	芸能部	柿木 吾郎
装飾古墳壁画の保存	保存科学部	江本 義理

研究会

昭和五十年五月七日	飛鳥大仏	久野 健
昭和五十一年二月十八日	在米浮世絵所感	岡 畏三郎
	在米琳派所感	河野 元昭

東京国立文化財研究所美術部（美術研究所）所員異動

前美術部長岡畏三郎は、昭和五十一年四月一日退官、四月一日付にて資料室長川上溼が美術部長に昇任、美術部主任研究官上野アキが資料室長に昇任した。